

平成 21 年 6 月 1 日現在

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2006～2008

課題番号：18330164

研究課題名（和文）教員養成系大学院の制度とその教育実態に関する総合的研究

研究課題名（英文） Research on Educational System and Practice of Graduate schools for Teacher Training

研究代表者

和井田 清司 (WAIDA SEIJI)

武蔵大学・人文学部・教授

研究者番号：50345542

研究成果の概要：本研究の目的は、1966年以來制度化されてきた教員養成系大学院の可能性と課題に注目し、同時に諸外国の教育系大学院の現状と課題の検討の中から日本への示唆を導出することにある。新構想教育大学を中心に、制度化以来の実践経過をふり返り、その蓄積を教職大学院に継承していることが明らかになった。また、英・米・東アジアの大学院の現状についての最新資料を、翻訳紹介した。それらの成果は、『教員養成系大学院の制度と教育実態』（2008.9）にまとめ、関係方面に提供した。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	4,700,000	1,410,000	6,110,000
2007年度	4,200,000	1,260,000	5,460,000
2008年度	4,300,000	1,290,000	5,590,000
年度			
年度			
総計	13,200,000	3,960,000	17,160,000

研究分野：教育学

科研費の分科・細目：教育学

キーワード：教員養成，大学院

1. 研究開始当初の背景

世界や日本の社会的激変，子どもや学校の病理的現象，従来の教育システムの制度疲労等が指摘され，行政改革の進行にも促されて教育改革の動きが加速している。教育の現実と教育改革の展望の中間に，教育改革の実践主体としての教師が存在する。改革理念の現実化を担保するのは，教育現場に立脚した教師の力量にほかならない。そのようななか，

教育改革の進行とともに，改革の焦点のひとつとして，教職大学院の創設(修士課程における教員養成の拡充と改革)，免許制度や研修制度の改革等，教師教育改革が注目されるようになってきた。

上述した動向に照らしてみると，教員養成系大学院の制度とその教育実態に関する総合的検討を企図とする本研究の特色が明確となる。本研究においては，教職大学院の制度化という現段階の問題状況をふまえ，日本

における教員養成系大学院の経験を総合的に再検討し、教訓と示唆を導出するものである。

2. 研究の目的

教職大学院が制度化され、実践されている。教職を専門職として認知し、専門職にふさわしい養成・研修過程を担保する制度として、修士課程における教員養成・研修は、否定すべきものではない。さらに、時代や社会の大きな転換期をむかえ、また子どもや学校の状態もあらたな困難に直面し、教職の専門性の向上や教師の力量形成が必須となっている。こうした背景のもとで考えれば、専門職としての教師の養成・成長は緊急な課題となっている。

この教職大学院と既存の教員養成系修士課程はどのような関係にあるのだろうか。1966年に東京学芸大学に修士課程が設置されて以来、全ての国立大学に拡大した教育養成系大学院の存在は、すでに40年の歴史を数えている。現職派遣院生の導入を中心とした新構想教育三大学(兵庫教育大学・上越教育大学・鳴門教育大学)の大学院も30年を経過する。10年前には、兵庫教育大学と東京学芸大学を基幹とする連合大学院博士課程も制度化された。40年を経て資料の散逸が危惧され、また制度化初期段階での関係者への聞き取り等も物理的限界をむかえつつある今日、こうした歴史的経過をていねいにふりかえり、記述することは重要な研究課題である。

教員養成系大学院の経験を検証し、その中から実践的価値を引き継ぎ、またそれぞれの段階で直面した諸課題を銘記することは、現下の教職大学院の制度化に際し重要な示唆を与えるものである。専門職大学院への流行が目立つ現在だからこそ、むしろ冷静に教員養成系大学院の歴史的経験に向き合い、それらの検証をふまえた理論と実践指針が求められるのである。

本研究は、上述した問題関心から、日本における教員養成系大学院の制度化の背景や意義、展開過程の様相や直面した諸問題、カリキュラムや講義・演習・研究指導等の教育実態、院生の研究実態を分析し、40年にわたる教員養成系大学院の再評価を試みるものである。

3. 研究の方法

研究の方法は、大別して、以下の三点に集約される。

第1は、文献研究である。ここでは、教員養成系大学院および教師教育に関する和文文献(必要に応じて翻訳ないし外国語文献を含む)を収集し、検討した。特に、国内においては、公刊資料や行政資料とともに各大学の内部資料の収集と分析に力点を置いた。また、海外資料については、英米の教師教育動向の最新情報を入手し、活用した。

第2は、教員養成大学院に関する各種データの収集・整理である。教員養成系大学院には、制度化の時期や設置形態によって多様な偏差がある。国公立系では、東京学芸大学等の教員養成系単科大学、兵庫教育大学等の新構想教育大学、一般国公立大学教育学部それぞれに教員養成系大学院の制度が存在し、やや性格の異なった特徴を有する。私立大学では、大学により、教育学部(教育学科)ないし教職課程において教員養成を行っているが、ポスト学部段階の教育組織も整備され始めている。さらに近年、夜間大学院・通信制大学院の制度化も進んでいる。これらの動向を把握するには、直接各大学にアクセスして諸データを収集整理する作業が必要となる。いくつかの大学に焦点化して、修士論文題目・カリキュラム改革の内部文書等を収集・分析した。

第3は、教員養成系大学院に関わる海外訪問調査である。海外調査を通して、世界の政策動向をキャッチすると共に、日本の教員養成系大学院の特質や課題を相対化し、海外の

実践を参照して今後の日本の教員養成系大学院の在り方への示唆を得ることが必要である。対象としては、英米を基本にして、東アジアへも調査を試みた。また、海外の研究協力者との連携を強め研究の推進を図った。具体的には、イギリスの研究者を招聘し、招待講演会を企画した。さらに、中国・韓国・台湾については、海外研究協力者に直接原稿執筆等も依頼した。

上記3つの方法によってえられた研究成果は、学会報告・論文執筆・研究資料の公開を通して、還元した。

4. 研究成果

本研究の成果は、学会報告・論文執筆・招待講演等において発信済みであるが、同時に『教員養成系大学院の制度と教育実態～基本資料と解説』（2008.9 発行，A4 版全 364 頁）という冊子に集約的に示されている。冊子の内容を概観すると、次のようなものである。

＜第Ⅰ部＞日本における教員養成系大学院の制度と教育実態

- ①教員養成系大学院の制度化と実態(全体資料)、②新構想三大学(兵庫教育大学・上越教育大学・鳴門教育大学)の経過・現状・課題、③新構想三大学修士論文のデータ分析、④一般国立大学の事例分析(福井大学)、⑤私学教育系大学院の現状と課題

＜第Ⅱ部＞英米における教員養成系大学院の制度と教育実態

- ①イギリス：修士レベルでの教員養成動向分析、②イギリス：プロフェッショナル・スタンダード分析(Professional Standards for Teachers および Professional Standards for Qualified Teacher Status and Requirements for Initial Teacher Training の翻訳・解説)、③アメリカ：教職キャリア設計と大学・大学院教育の基本的枠組み(教師教育スタンダード開発の動向)、④アメリカのアクレディテーション団体の役割(NCATE Unit

Standard 抄訳・解題)

＜第Ⅲ部＞東アジアにおける教員養成系大学院の制度と教育実態

- ①中国における教員養成系大学院をめぐる動向、②韓国の教育大学院をめぐる動向と課題、③台湾の大学院における教員養成・在職研修制度

三年間の研究成果を箇条書き的に指摘すると、次の三点にまとめられる。

- ①教員養成系大学院に関する基礎的データの収集整理を行い、その内容を冊子化して研究の公共財として提供した。
- ②英・米・東アジアの教師教育と大学院に関する現状と課題を整理し、研究資料や学会報告等で発信した。
- ③教職大学院の実践状況を内在的に検討し、その成果を研究資料や学会報告等で発信した。

ただ、これらは、教員養成系大学院をめぐる概況と課題を明示した段階にとどまり、歴史的経過と比較研究を通して、今後の展望を提示するまでには至らなかった。教職大学院での実践データの収集と検討を含め、今後より深めた研究を蓄積し、成果を出版化できればと計画している。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 8 件)

- ①小野瀬 善行，現代アメリカにおける教員資格取得以前の教育の多様化と大学の役割，釧路公立大学紀要社会科学研究, 21 号, 2009, 127-137, 査読無
- ②鞍馬 裕美，Characteristics of the School Personnel in Japan, *Educational Administration and Management in Japan*, 2008, 248-250, 査読無
- ③小野瀬 善行，米国テキサス州における教員養成評価制度に関する研究—州の教員養成機関に対する機能変容に着目して—，日本教師教育学会年報，16 号，2007，130-139，査読有
- ⑤高野 和子，教師教育改革と教員養成の専門家集団としての大学，日本教師教育学会年報，16 号，2007，42-49，査読有
- ⑤森 透，学生の実践的力量形成の事例研究—2006 年度後期「教育実践研究Ⅳ」と中教審答申「教職実践演習」（仮称）との関連も含めて，福井大学『福井大学教育実践研究』，32 号，2007，42-49，査読無
- ⑥森 透，教育実践の事例研究を通じた教育学の再構築—＜実践-省察-再構成＞の学び

のサイクルの提案, 日本教育学会『教育学研究』, 74 卷 2 号, 2007, 2-13, 査読有

- ⑦ 和井田 清司, 教職大転換時代における教師教育の課題武蔵大学『教職課程研究年報』21 号 2007 38-46, 査読無
- ⑧ 和井田 清司, 教育実践創造の可能性と課題, 日本教師教育学会年報, 15 号, 59-67, 2006, 査読有

[学会発表] (計 5 件)

- ① 高野 和子, 高等教育機関としての教員養成系大学の課題, 東京学芸大学新教員養成システム推進本部主催全国フォーラム『教育系大学院での教師教育を考えるー教職大学院の“いま”と“これから”ー』, 2008. 12. 10, 東京学芸大学
- ② Dr. David Crook (Institute of Education, University of London), **In-service training and professional development for teachers in Britain: historical perspectives**(英国における教師の現職教育と職能成長ー歴史的視点から), 科研費基盤研究 (B)「教員養成系大学院の制度とその教育実態に関する総合的研究」講演会, 2008. 9. 27, 明治大学
- ③ 和井田 清司, 高野 和子, 若井 彌一, 佐竹 勝利, 新井 肇, 森 透, 朝日 素明, 鞍馬 裕美, 小野瀬 善行, 和井田 節子, 西田 幸代, 阿部 一也, 教員養成系大学院の制度とその教育実態に関する総合的研究(3)~米英における教師教育と大学院, 日本教師教育学会, 2008. 9. 14, 工学院大学
- ④ 和井田 清司, 高野 和子, 若井 彌一, 佐竹 勝利, 新井 肇, 森 透, 朝日 素明, 鞍馬 裕美, 小野瀬 善行, 和井田 節子, 西田 幸代, 阿部 一也, 教員養成系大学院の制度とその教育実態に関する総合的研究(2)~日本における教員養成系大学院の展開過程を中心に, 日本教師教育学会, 2008. 9. 14, 工学院大学 高野 和子, The significance and limitations of Area Training Organizations – a Japanese perspective, History of Education Society Conference, 2007. 12. 8, University of Birmingham
- ⑤ 和井田 清司, 若井 彌一, 佐竹 勝利, 新井 肇, 森 透, 朝日 素明, 阿部 一也, 教員養成系大学院の制度とその教育実態に関する総合的研究(1), 2007. 9. 29, 鳴門教

育大

6. 研究組織

(1) 研究代表者

和井田 清司 (WAIDA SEIJI)

武蔵大学・人文学部・教授

研究者番号: 50345542

(2) 研究分担者

高野 和子 (TAKANO KAZUKO)

明治大学・文学部・教授

研究者番号: 30287883

(3) 連携研究者

若井 彌一 (WAKAI YAITI)

上越教育大学・大学院学校教育研究科・教授

研究者番号: 60004123

佐竹 勝利 (SATAKE KATSUYOSHI)

高松大学・発達科学部・教授

研究者番号: 30071674

森 透 (MORI TORU)

福井大学・教育地域科学部附属教育実践総合センター・教授

研究者番号: 20182199

新井 肇 (ARAI HAJIME)

兵庫教育大学・大学院学校教育研究科・教授

研究者番号: 60432580

朝日 素明 (ASAHI MOTOAKI)

摂南大学・外国語学部・講師

研究者番号: 20331366

小野瀬 善行 (ONOSE YOSHIYUKI)

釧路公立大学・経済学部・講師

研究者番号: 50457735

鞍馬 裕美 (KURAMA YUMI)

帝京大学・短期大学部現代ビジネス学科・助教

研究者番号: 50461794

佐久間 亜紀 (SAKUMA AKI)

上越教育大学・大学院学校教育研究科・准教授

研究者番号: 60334463